

月	単 元 名 (教材名) (配当時数)	学 習 活 動 ・ 内 容	評価の主な観点			評 価 の 観 点 規 準	評価のための判断材料
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む力		
4月	第1章 身の回りの物質 第2節 物質を作る原子・分子 (復習) (2時間)	・物質は原子や分子からできていることを理解する。	○	○	○	・単体の物質のつくりに関心をもち、物質を微視的に考えようとする。 ・物質の溶解や状態のちがいを粒子モデルを使って考察することができる。 ・物質は分子や原子が構成要素であることを理解し、知識を身につけている。	発言・実験レポート・試験
	第2節 物質を作る原子・分子 ・原子と元素 ・元素記号 ・周期表 (2時間)	・原子や物質は記号で表されることを知る。	○	○	○	・原子記号に関心をもち、 ・化学式から、分子を構成する原子の種類と数を考察することができる。 ・化学式は物質の組成や分子を表していることを理解し、原子の記号や化学式を正しく書くなど、知識を身につけている。	発言・実験レポート・試験
5月	第3節 密度 (6時間)	・同じ体積でも質量が異なるものがあることを知り、物質を区別する手掛かりになることを見いだす。また、公式を使って体積と質量から密度を計算し、物質の密度を求めることができる。	○	○	○	・物質によって密度が違うことを理解し、密度についての知識を身につけている。 ・電子てんびんやメスシリンダーの基本操作を身につけている。	発言・実験レポート・試験
6月	第3章 常温で気体の物質 (3時間)	・気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。	○	○	○	・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生と性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	発言・実験レポート・試験
	第4章 状態変化と化学変化 (3時間)	・化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解する。	○	○	○	・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている	発言・実験レポート・試験
	第5章 第2節 ・化学反応式 (3時間)	・化学反応式が正しく書けるようになる。	○	○	○	・反応物、生成物が正しく書け、反応前後の原子の個数が変わらず組み合わせが変わることを理解して、正しく化学反応式が書けるようになる。	発言・実験レポート・試験
7月	・いろいろな化学変化 (2時間)	・物質を化合する実験を行い、反応前後の性質の違いについて見いだす。	○	○	○	・物質を化合して、反応前後の物質の性質のちがいを比較する方法を身につけている。 ・化合について理解し、知識を身につけている。	発言・実験レポート・試験
	・いろいろな化学変化 (2時間)	・物質を熱によって分解する実験を行い、分解して生成した物質から元の物質の成分を推定できることを見いだす。	○	○	○	・物質を加熱するとどんな物質ができるか関心をもち、加熱前後の物質の性質を探究しようとするとともに、日常生活とのかかわりで考えようとする。 ・加熱して生成した物質から元の物質の成分を推定できる。 ・物質を熱分解して反応前後の物質の性質を探究する過程から科学的な方法を身につけている。 ・化合物が熱分解して別の物質ができることを理解し、知識を身につけている。	発言・実験レポート・試験
	・物質はどこまで分解できるか (1時間)	・物質を電流によって分解する実験を行い、分解して生成した物質から元の物質の成分を推定できることを見いだす。	○	○	○	・水を分解すると何ができるのか関心をもち、分解してできた物質の性質を調べようとする。 ・電気分解して生成した物質から元の物質の成分を推定できる。 ・物質を電気分解して反応前後の物質の性質を探究する過程を通して科学的な方法を身につけている。 ・水などの化合物が電気分解して別の物質ができることを理解し、知識を身につけている	発言・実験レポート・試験
9月	第6章 化学変化とイオン 第1節 電解質と非電解質 第2節 電子配置とイオンの生成 (8時間)	・水溶液には電気を通すものと通さないものがあることを知り、結合した物質も水溶液中ではイオンになっているものがあることを知る	○	○	○	1. 水溶液の電氣的なはたらきに興味を持つ。 2. 水溶液中のイオンの電氣的な動きを考えられる。 3. 水溶液の実験方法がわかり、結果から考察ができる。 4. イオンを理解し、水溶液中でのようすが考えられる。	発言・実験レポート・試験
10月	第3節 電気分解 (8時間)	・電流を流すことによって物質を分解する実験を行い、1種類の物質から2種類以上の元の物質とは異なる物質が生成することを見いだす。	○	○	○	1. 電気によって水を分解して生成した物質が元の物質とは異なることを理解し、知識を身につけている。 2. 電気によって水を分解する装置を組み立て、化学変化の前後の物質の性質を調べる実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などの仕方を身につけている。	発言・実験レポート・試験

11月	第4節 イオン化傾向 (7時間)	・金属を電解質の水溶液に入れる実験を行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する	○	○	○	1. 金属の種類によってイオンへのなりやすさが異なることについて基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 2. 金属を電解質の水溶液に入れる実験に関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている	発言、実験レポート、試験
12月	第5節 電池 4 電池のしくみ (7時間)	・電解質から電気を取り出せることを知り、電池のしくみについて理解する。	○	○	○	1. 電池のつくりに関心を持つ。 2. どのような物質が電池になれるかを考えられる。 3. 電池作成の実験ができ、いろいろな物質で比べることができる。 4. イオン化傾向があることを理解し、電池のしくみが考えられる。	発言、実験、レポート、試験
1月	第6節 酸・アルカリ 1 酸性・アルカリ性 2 水溶液とイオン 3 酸と金属の反応 (7時間)	・酸性とアルカリ性、塩について学習し、イオンがかかわることを理解し、金属との反応で水素が出ることを知る。	○	○	○	1. イオンと酸・アルカリの関係に関心を持つ。 2. イオンの関係からどのような物質が生成されるかを考えられる。 3. 実験結果を予想しながら実験することができる。 4. 化学結合についての理解が深まり、化学反応式を書き表せる。	発言・実験レポート・試験
2月	第7節 中和と塩 ・酸とアルカリを混ぜる 5 廃液の処理 自然と環境 1 自然界のつり合い 2 人間と環境 (5時間)	・いろいろな塩について知り、化学物質についての理解を深めるとともに、環境に対して配慮ことを知り、自然と人間とのよりよいかかわり方について考えられる。	○	○	○	1. 中和と塩について理解することができる。 2. 環境への配慮に関心を持つ。 3. どのようなことが環境に影響を及ぼすかを考えられる。 4. 環境保護のための様々なしくみに理解が深まり、実践できる。	発言・実験レポート・試験
3月	かけがえのない地球のために (4時間)	・地球環境をより良く、長く保つために行なっていくべきことを知る。	○	○	○	1. 地球環境の維持に関心を持つ。 2. 地球環境に影響を及ぼすことから考えられる。 4. 地球環境維持のための知識を持ち、実践できる。	発言・実験レポート・試験